

力を合わせて 地域福祉で 安心して暮らせる まちづくり

平成28年度に取り組む主な事業

各地区での地域福祉活動の推進

市内49の地区社会福祉協議会(地区社協)では、住民参加の地域福祉活動に取り組んでいます。本会は、地区社協活動の企画相談、研修開催、助成等の支援を行っています。

- 自治会型デイホームの運営
- 福祉委員や民生児童委員等による見守り支援活動・地域支え合いマップづくり
- 食事サービス(配食・会食)の実施
- ふれあいサロン活動(集いの場づくり)
- 地区社協だより(広報紙)の発行
- 小地域ふれあい福祉まつりの開催 など

障がいがある方々への支援

障がいがある方やその家族が、住み慣れた地域で自分らしく生活ができるよう支援します。

- 福祉サービスの利用援助
- 健康、介護、福祉等の相談
- 中央いきいきサロン、さわやかサロンの開催
- 身体障がい者へのピアカウンセリングの実施(同じような障がいがある方からの助言等)
- 障害支援区分認定調査の実施
- サービス等利用計画の作成
- 基幹相談支援センターの運営



子育て家庭への支援

市内の児童館を拠点に子育て力の向上や子どもたちの健全育成事業に取り組みます。

- 児童館等の管理・運営(28館)
- 放課後児童会の運営(27会)
- 乳幼児とご家族の方の遊び場と交流の場(子育てひろば、子育て支援室「赤とんぼ」)



援助を必要とする方々への支援

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方との契約により生活支援員を派遣し、福祉サービスの利用手続きや日常の金銭管理を支援します。

- 日常生活自立支援事業



失業者・低所得世帯への支援

生活福祉資金貸付制度
低所得世帯、障がい者世帯又は高齢者世帯を対象とする総合支援資金、教育支援資金等の貸付制度についてのご相談をお受けします。

- 臨時特例つなぎ資金貸付制度
住居のない離職者を対象とするつなぎ資金貸付制度についてのご相談をお受けします。

ボランティア活動の推進

共に考え、共に歩む身近なボランティアセンターを目指し、様々な角度からボランティア活動を応援します。

- ボランティア活動についての相談、調整、支援、広報
- 各種ボランティア講座と交流会の開催
- 体験学習や地域ぐるみでの福祉教育の推進
- 企業やNPO等との連携
- ボランティアルーム、資機材(車いす、体験グッズなど)の貸出 など

高齢者の方々への支援

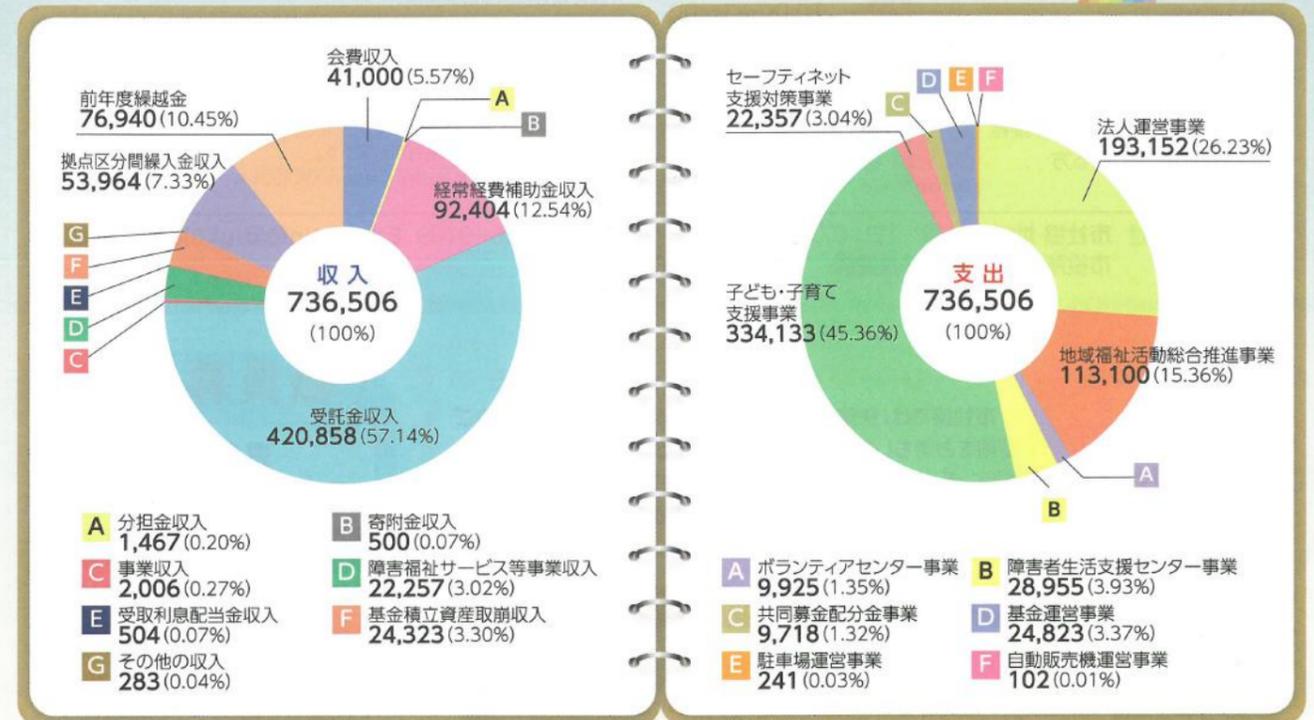
高齢者の生きがいづくりや介護予防事業を実施します。

- 自治会型デイホーム事業の実施
- 食事サービス事業(配食・会食)の実施
- 介護者のつどいの開催
- ひとり暮らし高齢者等見守り活動



平成28年度会計収支予算

(単位:千円)



皆さまの会費に支えられています

市社協の事業・活動の財源は行政からの補助金・委託金、共同募金の助成金などがあります。特に民間の福祉団体として自主的な事業活動を進めていく上では、市民の皆さまからの会費が貴重な財源となっています。

本年も、一般会員、賛助会員および特別賛助会員にご加入いただきますよう、市民の皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

一般会員(世帯会員)	年額	350円	各自治会を通じ、世帯単位でご支援をお願いしています。
賛助会員(個人会員)	1口	1,000円	各地区社協を通じ、社協活動に賛同してくださる個人にお願いしています。
特別賛助会員(企業・団体会員)	1口	10,000円	市社協役員が訪問等により、社協活動に賛同してくださる法人・事業所にお願いしています。

○いただいた会費で行う主な事業

地区社協活動への助成(49地区)	23,473千円	市民福祉大会の開催	695千円
市社協運営のために	9,776千円	福祉委員活動の推進のために	617千円
地域福祉活動計画の策定	956千円	食事サービス事業の充実のために	250千円
地域福祉活動推進のために	897千円	民生児童委員活動への助成	895千円
ボランティア活動の推進のために	848千円	県社協会費他	2,593千円